

きょうりよく

「京力農場プラン」とは

京力農場プランとは、地域の人と農地の課題を解決するため、話し合いにより作成する将来の設計図です。

平成29年3月末で、府内22市町村、241の京力農場プランが作成されています。

新たに農業を始めた人をみんなで応援するで～



やっと安心して農地を任せられるわ



これからのこの地域の農業、もっともっと自分たちで考えていくわ



- ・・・などの声をプランを作成された地域からお聞きします。皆さんの地域でもプランをつくってみませんか。

京力農場プランとは

☆ 地域における話し合いによって、次のことなどを決めていただきます。

- ◎ 今後の中心となる農業者は誰か
- ◎ 地域の担い手は十分に確保されているか
- ◎ 近い将来の農地利用のあり方はどうか
- ◎ 農地中間管理機構をどのように活用していくのか
- ◎ 地域農業のあり方はどうするのか（どんな作物を作るのか、経営の複合化、6次産業化）

京力農場プランを実現するための支援

☆ 京力農場プランに位置付けられると、次の支援を受けることができます。

国の支援

- ◎ 新規就農者への支援（農業次世代人材投資資金 150万円/年）
- ◎ 農地の利用集積への支援（地域集積協力金）
- ◎ 農業のための借入金に対する支援（スーパーL資金の当初5年間無利子化）
- ◎ 農業用機械等の導入を支援（経営体育成支援事業）

京都府の支援

- ◎ 集落営農組織の発展段階に応じた取組を支援（集落営農総合対策事業）
- ◎ 販売額2千万円、1億円を目指す取組を支援（企業的農業経営体づくり事業）